

消化器外科学教室Ⅰ 選択実習レポート

小林 紘生



選択実習の第1クールを第一外科にて実習させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、1週目は大学病院の肝胆膵グループで、2～4週目はJCHO北海道病院で実習をさせていただきました。

大学病院では、総回診の時の武富教授へのプレゼンが印象に残っています。検査所見や画像所見などを暗記しておく必要がありました。暗記することは患者のことを理解し、患者の状態の変化に気づきやすくなるためにも重要なことであることを学びました。また手術見学では、肝臓切除の症例を見学しました。動脈や胆管が表出されるたびに結紮、離断する必要がある、地道で丁寧な作業が必要であることがわかりました。

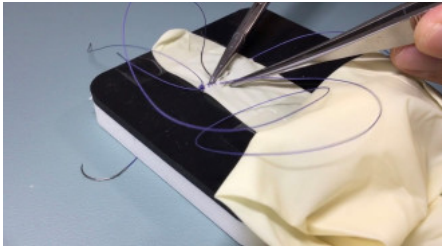
JCHO北海道病院では、3週間の間に20例もの手術に入らせていただき、術野の確保や腹腔鏡のカメラ持ちをしました。学生に許される範囲で、初期研修医と変わらないほど仕事を与えていただき、いよいよ来年から始まる研修に向けていい経験ができました。また、患者の入院から退院まで、どのように治療が行われていくのか外病院での現状を知ることができたことも印象に残って

ります。

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを少しでも下げたい状況である中、実地での学生の実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。来年4月からよき医師になるための第一歩を踏み出せるよう、まずは国家試験合格に向けて取り組んでまいります。

北海道大学第一外科レポート

大久保 快星



選第2クールでお世話になりました。運悪く、初日に緊急事態宣言が発令されてしまい、学外実習も病棟実習も無くなってしまいましたが、代わりに4週間すべて移植グループで実習させていただきました。実は、4年生から始まる病院実習で、一番初めに見学させていただいた手術が生体肝移植でした。ダイナミックであり、かつ超繊細な肝移植の手技に魅了され、日をまたぐまで術野に残って手術を見学させていただいたことを覚えています。オンライン中心ではあったものの、移植グループで長く実習させていただけて、とても嬉しかったです。

・web講義

移植グループの先生方だけでなく、肝・胆・膵グループ、消化管グループ、小児グループの先生方も毎日日替わりで講義をしてくださいました。外病院の先生による講義の日もあり、とても勉強になりました。

・5年生への講義

肝移植をテーマに、僕から5年生へ講義をしました。うまく説明するために、自分自身で深く理解する必要があり、準備が非常に大変でしたが、移植グループの先生方が手厚く指導してくださったため、納得のいく講義ができたと思います。5年生からの評価もよかったと思います。

・先生と話そう

第2クールは僕一人で、しかもweb中心だったため非常に心細かったのですが、毎日移植グループの先生方とのフリートークの時間があり、とても楽しかったです。研究・留学・マッチング・国試・初期研修など様々なことについて遠慮なく聞かせていただきました。将来のことなどについてゆっくりお話しすることは、対面実習だったらなかなか実現しないと思います。web実習でよかったことのひとつでした。

・カンファレンス、手術

途中で規制が緩くなり、病棟以外への立ち入りが許可されたため、後半はカンファレンスや手術に参加させていただきました。カンファレンスでは発表もさせていただき、発表を通じて自分の中に見逃してはいけないチェックポイントを設ける、という考え方を学ぶことができました。忘れないようにしたいです。また手術では、先生方が丁寧に解説しながら進めてくださったため、画面上だけではわからなかった解剖なども理解することができました。

・課題「肝移植の静脈吻合法」

総合課題としてスライドを作成し、最終日にオンライン発表させていただきました。ただ調べてまとめるだけではなく、実際に自分でゴム手袋を静脈に見立てて吻合の練習をやってみよう、と、先生が道具一式をお貸ししてくださり、毎週指導していただきながら練習を続け、どれくらいできるようになったか、その成果についても発表しました。手技を極めるということがどれだけ難しいか実感し、スラスラ手術される第一外科の先生方にさらなる尊敬の念を抱きました。

国試で問われるよりも深いテーマではありましたが、人生で最初に見た手術の手技であり、かつ手術科志望である自分にとっては、とても楽しく、やりがいのある課題でした。（あまりに楽しかったため、道具一式は未だに（許可を得て）お借りし、勉強の合間に練習しています。卒業までに必ず返却いたします。すみません！）

お忙しい中、第一外科の先生方には非常に目をかけていただき、オンライン中心とは思えないほど充実した4週間を過ごすことができました。改めて、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

北海道大学第一外科レポート

赤坂 幹

選択実習の第3クールを第一外科で実習させていただきました。そのうち前半2週間は大学、後半2週間はJCHO北辰病院での実習であり、医療現場で多くのことを体験でき充実していました。

大学では小児グループにてカンファレンス、回診、検査、手術といった様々な場面を体験させていただきました。小児グループの仕事は多岐にわたり、外科であっても手術だけではなく総合的な視野と知識が必要であることを知りました。

JCHO北辰病院では毎日手術室に入り、助手として器械の保持やカメラ持ちなどを体験することができました。腫瘍や鼠径ヘルニアなどの腹部疾患について実際の患部を直に見て触ることで、教科書ではわからないディテールを学びました。

最終日には大学で経験した後腹膜腫瘍の症例について発表しました。本多先生、河北先生、三國先生、竹元先生の四名に指導していただき、症例の知識だけでなく論文検索やスライドのまとめ方まで学ぶことができました。

お忙しい中先生方に丁寧に指導していただき、とても学びになる実習でした。ありがとうございました。